＜資料＞　「2020 ぎふ平和のつどい」公演者・講演者紹介

崔 善愛さん

1959 年兵庫県生まれ、北九州市出身。ピアニスト。
21 歳で外国人登録証の指紋押捺拒否、それにより米国留学の際、再入国不許可となり、特別永住資格を剥奪された。89 年、指紋押捺拒否裁判は「恩赦」となるがこれを「拒否」。93 年、「再入国不許可取消」訴訟は福岡高裁で違憲判決。しかし 98 年、最高裁で敗訴。99 年、国会参議院法務委員会での参考人意見陳述を経て原状回復した経験を持つ。

主な著書に『「自分の国」を問いつづけて』（岩波ブックレット）、『父とショパン』（影書房）、『ショパン~大砲の中に隠された花束』（岩波ジュニア新書）など。CD に『ZAL』（ショパン作品集）ほか。

「ショパンの手紙」「ベートーヴェン物語」「自由な風のうた」コンサート活動とともに、劇作「最終目的地は日本」（木山事務所）、「生くべくんば民衆とともに 死すべくんば民衆とともに 弁護士・布施辰治」（前進座）、「KYOKAI」（東京芸術座）で音楽監督を務めた。

週刊『金曜日』の編集委員として、人権問題を中心に健筆を振るっている。

昨年 10 月羽島市文化センターで、「ピアノ＆トーク　平和と人権コンサート」を行い、好評を博した。

斎藤貴男さん

1958 年東京生まれ。早稲田大学商学部卒業。英国バーミンガム大学大学院修了(国際学 MA)。「日本工業新聞」記者、「プレジデント」編集部、「週刊文春」記者などを経てフリーに。

主な著書に、『機会不平等』（岩波現代文庫）、『安心のファシズム――支配されたがる人びと』（岩波新書）、『ルポ改憲潮流』(岩波新書)、『強いられる死 自殺者三万人超の実相』(河出文庫)、『東京を弄んだ男「空疎な小皇帝」石原慎太郎』(講談社文庫)、『民意のつくられかた』(岩波現代文庫)、『「心」と「国策」の内幕』(ちくま文庫)、『消費税のカラクリ』(講談社現代新書)、『「東京電力」研究 排除の系譜』（角川文庫）、『ジャーナリストという仕事』（岩波ジュニア新書）、『「マイナンバー」が日本を壊す』（集英社インターナショナル）、『戦争経済大国』（河出書房新社）、『日本が壊れていく――幼稚な政治、ウソまみれの国』（2018 年、ちくま新書）など多数。

近著に、『平成とは何だったのか－「アメリカ属州」化の完遂』(秀和システム)、改題『カルト資本主義　増補版』（ちくま文庫）『決定版　消費税のカラクリ』(ちくま文庫)、『奢る権力　煽るメディア』などがある。